

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・職員全員が一枚岩となり、学力向上や心の教育に取り組みを続けた結果、多くの場面において子どもたちの自主的な活動が見られた。
・特別支援学級だけではなく通常学級の中にも支援が必要な児童が多く見られる。
・今後も業務改善に向け、全職員の理解をもとに新たな手立てを講じながら取り組みを進めたい。

2 学校教育目標
自律・協働・創造の育成 ～主体的、対話的な深い学びの実践を通して～

3 本年度の重点目標
①「問い」を中心とした、主体的、対話的な深い学びの実践に取り組むことで、学力向上を推進する。
②特別支援教育の視点を取り入れた子ども理解に全職員が努め、複数担任制による個に応じた組織的な指導体制の機能を高める。
③規則正しい生活習慣の確立や家庭学習の習慣化など、家庭と連携した子どもの自律を促す取組を継続・発展させる。

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
表のメイン部分で、評価項目、重点取組、成果指標、具体的取組、中間評価、最終評価、学校関係者評価、主な担当者という構成で詳細な評価内容が記載されている。

5 総合評価・次年度への展望
「問い」を中心とした、主体的・対話的な深い学びの実践に向けて、校内研を中心に取組を進めた。
・特別支援学級の児童だけではなく、困り感をもつ全ての児童に支援を行うため、本校では副担任制をとっている。
・今年度達成度がやや不十分であった規則正しい生活習慣の確立に向け、家庭との連携という課題の克服に努めていく。